

2021年2月3日

食品サプライチェーンDXの本格推進に関して

株式会社日本アクセス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：佐々木淳一、以下「日本アクセス」）は、食品サプライチェーンDXによる物流最適化を重要施策と位置付け、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：鈴木善久、以下「伊藤忠商事」）と連携し、食品サプライチェーンDXの取組みを本格的に開始いたしました。

当社では、グループ会社である伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柘植 一郎）やデータ活用のリーディングカンパニーである株式会社ブレインパッド（本社：東京都港区、代表取締役社長：草野 隆史、以下「ブレインパッド」）とともに、人工知能（AI）を用いた需要予測及び食品メーカーに対する発注最適化実現に向け、検証を行って参りました。一部の物流拠点において小売店と連携することで、販売データ等を活用した需要予測と発注自動化を実現し、業務の効率化及び在庫の適正化、それに伴うコスト削減の実現が確認出来たため、対象となる拠点を全国へ拡大する方針を決め、本格的な食品サプライチェーンDXの展開を開始することといたしました。まずは、一部の得意先向け飲料や酒、菓子など常温商品（約1,000商品程度）から開始し、順次対象を拡大していきます。

現在、食品流通分野ではデータを活用した効率化や新たなビジネスの創出による収益拡大、フードロス削減等の実現が強く求められています。一方で、食品サプライチェーンにおける小売、メーカー、卸は、需要予測等に必要データを個々に保有しており、食品サプライチェーンDXによりこれらを実現するためには、業界全体でのデータ連携が必要となります。

今後はデータ連携を食品卸が担い、商品・原材料調達から小売り向けの物流に至る食品サプライチェーン全体の最適化を目指し、取組みを進めて参ります。

◆2021年2月1日 伊藤忠商事株式会社発表

食品サプライチェーンDXの本格的な展開について

<https://www.itochu.co.jp/ja/news/press/2021/210201.html>

◆2021年2月2日 株式会社ブレインパッド発表

ブレインパッド、伊藤忠グループと食品サプライチェーンDXを推進

<https://www.brainpad.co.jp/news/2021/02/02/14135>

以 上